

重点戦略

1

協働のまちづくりと地域力のアップ

まちづくり宣言3 地域の力を活かした、地域が輝くまちづくりを進めます。

1 現状認識

- ・身近なまちづくりの担い手として、様々な分野で地域コミュニティ^{*1}が果たす役割が高まっています。一方で、価値観やライフスタイルの多様化などにより人と人とのつながりが希薄化しています。
- ・これからのまちづくりにおいては、地域住民同士が助けあい、支えあう共助の精神のもと、協力して課題解決に取り組んでいくことが重要です。
- ・本市では平成21年に新しい住民自治制度がスタートし、平成23年6月現在、181の住民自治組織が地域コミュニティ活動に取り組んでいます。
- ・今後も、地域の課題や特性に応じた地域に根差したまちづくりを進めていくため、地域コミュニティの活性化による地域力の向上が求められています。

2 宣言が目指すまちの姿

住民自治組織を中心に、地域の多様な主体が連携し、活発な地域コミュニティ活動が展開され、地域住民が住み慣れた地域でいきいきと暮らしています。

3 実践に向けての考え方

(1) 地域コミュニティの活性化支援

地域の創意工夫により活発な活動が展開されるよう、住民自治組織などへの支援策の充実を図ります。また、地域との意見交換を継続しながら、長期的な視野を持って、地域コミュニティの活性化に向けた取組を推進します。

(2) 参加意識・気運の醸成

地域コミュニティの重要性を広く周知するとともに参加しやすい環境を整え、地域づくりの担い手としての行動を促進するための気運醸成を進めます。

市民の役割

地域コミュニティの重要性を理解し、一人ひとりが地域づくりの担い手であることを自覚し、地域活動に積極的に参加・協力します。

行政の役割

地域との意見交換を継続する中で、適切な役割分担による地域活動の推進体制を構築するとともに、活性化に向けた環境整備を進めます。

*1地域コミュニティ：福祉、子育て、防災、防犯、環境、スポーツ、祭りなどに関わりあいながら、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団を指す。本市では、住民自治組織等を基礎的単位として想定している。

4 主要事業

主要事業名	内 容
優先プロジェクト 中核的な地域コミュニティの形成 新規	住民自治組織を主体とした地域づくりを進めるとともに、地域力の向上を図るため、コミュニティセンターを単位とした中核的な地域コミュニティの形成に向けた取組を進めます。
優先プロジェクト まちづくりバンク・ポイント制度の構築 新規 ※再掲	市民のボランティア活動の活性化を図るため、新たに登録制度やポイント制度を構築し、活動を促進します。
地域担当職員制度の導入 新規	地域と行政の連携・協力体制を強化し、地域コミュニティ活動を推進するため、地域担当職員制度を導入します。
地域活動拠点の充実	コミュニティセンターの機能維持、集会施設整備助成など、活動拠点形成を支援します。また、学校等の公共施設や民間施設の活用を進めます。
新たなまちづくり補助金制度の活用促進	新しい補助金制度の活用を促進し、地域での自主的な活動を促します。
地域住民の意識啓発	住民向けの研修会やワークショップを開催し、地域コミュニティの重要性についての関心・理解を深め、積極的な参加を促します。

5 数値目標

指 標 名	ベース値	目標値
1. 地域の人々がふれあい、交流できる機会・内容に満足している市民の割合(%) ※地域での交流・コミュニティ活動に関する市民の評価を見る指標	23.4	28.4
2. 地域での助けあいやボランティア活動に満足している市民の割合(%) ※地域での助けあいやボランティア活動に関する市民の評価を見る指標	25.6	30.6
3. 中核的な地域コミュニティ設立地区数(地区) ※中核的な地域コミュニティの形成の進捗度を見る指標	0	13
4. 市民活動への支援や参加できる機会に満足している市民の割合(%) ※市民活動の進捗に関する市民の評価を見る指標	19.9	29.9
5. 市民と市がお互いの信頼のもと、連携・協力したまちづくりが進められていると感じている市民の割合(%) ※市民と行政との協働に関する市民の評価を見る指標	27.3	37.3